



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Follow Your Rotary Dream

「ロータリーの夢を追い続けよう」

1998～99年度・国際ロータリーテーマ/ジェームス・レイシー会長

「明かるいクラブと豊かな人生」

1998～99年度・東京新南ロータリークラブテーマ/宮武 保義会長

本日の例会 2月19日 第596回例会

夜間例会/レディス・ディー(18:00～20:00)

卓 話

「輝いて生きる」

歌手・女優・版画家 ジュディ・オング 氏

前回報告 第595回例会

2月16日(火) 於・ホテルパシフィック東京

98～99年度RI第2750地区

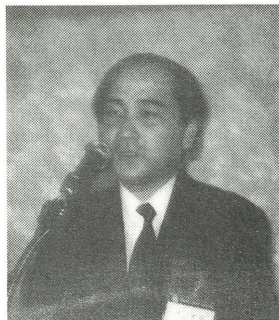
千代田A・B分区・山の手A・B分区・

京浜A・B分区合同インターミーティング

(2月12日例会振替)

*内容については次号で紹介します

前々回報告 2月5日 第594回例会



◎卓 話

「私の日本留学の動機」

米山奨学生

東京大学博士課程

イ スンボク

李 承福 君

(国籍・韓国、
世話クラブ・当クラブ)

*卓話の内容は次号で紹介します

◎幹事報告

本日例会後、2月定例理事会を開催します。

◎雑誌委員会報告(谷村委員長)

「ロータリーの友」2月号読みどころ

縦組みP.2 元駐ペルー大使、妹尾正毅氏の「外交官生活40年の印象」は、時宜を得たテーマです。ご一読下さい。

横組みP.28 当クラブが協賛した「第10回日米少年少女水泳大会」の記事が載っています。ご覧下さい。

お 知 ら せ

1999-2000 年度版

「ロータリー全国会員名簿」「ロータリー手帳」発行
「全国会員名簿」1組8,000円(消費税別) 8月中旬配布予定
「ロータリー手帳」1部 600円(消費税別) 5月下旬配布予定
ご購入の申込みは2月26日(金)までに事務局へお願い申し上げます。

◎慶事披露

●米山功労者/小杉修造君

米山ファンドフェロー/柴田陽三君

当クラブは15回目の米山功労クラブ表彰を受けました。

●お誕生日祝い/後藤完夫君(2月1日)、関 征春君(2月7日)、酒井一史君(2月11日)、大山啓人・土屋東一君(2月13日)、島田昌雄君(2月15日)、斉藤茂之君(2月18日、古希)

●100%出席/柴本芳郎君(11年)、宮武保義君(9年)

◎出席報告

●会員70名/出席49名・欠席21名(出席規定免除者3名)
1月平均出席率87.07%

●ビジター6名/(敬称略・順不同) 増田 実(東京)、福原 弘(東京武蔵野)、内田和也(東京銀座)、吉井 栄(東京神宮)、西山 巖・楫西省吾(東京南)

●ゲスト1名/石井謙次氏(荒木会員ゲスト)



2月5日/16件 45,000円

98～99年度累計 1,332,000円

多額のご寄付を有難うございます。

(順不同敬称略)

斉藤茂之/今月70歳を迎えます。宮武保義/ロータリアンになって早くも満15年となりました。地元の逗子市社会福祉協議会の会長に就任いたしました。更に、奉仕の輪を拡げます。柴本芳郎/100%出席、当クラブで11年、ロータリー通算17年達成出来ました。感謝します。関政春/ありがとうございます。55歳になりました。谷村義雄/無事退院しました。小湊雅亮/2月がインフルエンザの最も危険な時期です。高令者がねらわれています。御大事に。小原 健/1ヵ月かかってやっと風邪がなおりました。皆様お気をつけ下さい。土屋東一/立春に乾杯。谷 義一/小杉さん、2月19日にはよろしく願い致します。高須康有/ホームクラブ欠席が続きましたので。高橋先生、家内が大変お世話になっております。相澤成憲/御礼ができました。先日皆勤賞をいただきました。環境保全のアンケート、開発さん、小杉さん、ありがとうございました。河原勢自/何だかよくよく判りません。荒木さんの前につれて来られましたので。ありがとうございます。渡部一元/荒木さん、ご苦労様です。吉岡琢磨/荒木さん、増強ご苦労様です。もう一息頑張りましょう。川鍋二郎/荒木さん、ニコニコご苦労様です。荒木昭文/皆様、ニコニコご協力有り難うございました。

次週予告 2月26日 第597回例会

第3回クラブセミナー

「ロータリー情報の質問に答える -その3」

1月29日(金)第4回クラブ協議会が開催され、「上半期活動報告と下半期活動計画」と題して、各委員会から報告がなされました。本紙では、このうち上半期の活動報告に焦点を絞って、各委員会に要約をしていただいたものを掲載致します。なお、クラブ奉仕委員会については、半数以上の委員会については、小湊委員長がまとめて報告をされましたが、ここでは、各委員長からの報告をそのまま掲載致します。

総括 会長 宮武保義

本年度の上半期は昨年度に引き続いて、誠に厳しい社会経済環境の下でのクラブ運営でありました。このような環境下で本年度はレイシー会長によるR Iのテーマ「ロータリーの夢を追いつけよう」という旗印の下に、「明るいクラブと豊かな人生」を当クラブのサブ・テーマとしてクラブ運営を進めて参りましたが、「魅力のある例会」「活発な委員会活動」「組織の充実」という三つの活動方針についても、理事・役員・委員長を始めクラブの会員全員のご努力によって概ねその目標を達成出来たのではないかと思います。

特にご報告すべきことは下記の通りです。

- (1) 活発な会員増強活動の下に上半期の実績としては、既に3名の新会員の入会を迎へ更に2名の手続が行われております。然し、悲しいことに伊部会員がお亡くなりになり更に3名の退会者があり、上半期末の会員数は70名と期首に比べて純減1の結果となりました。
年度末の目標は純増3名ですから、下半期の会員増強活動に更に一層の努力が必要です。
- (2) 新会員の親睦を一層図る為に入会3年未満の会員を対象にした「友もあ会」が7月に誕生し、持ち回り幹事制によって3回に亘る独自の懇親会と更に火曜会への参加等活発な交流活動が行われてきました。
- (3) 昨年度末に誕生した「東京新南ロータリー研究会」は、田辺賢三会員を講師として上半期には「ロータリーの誕生とその思想的発展」を中心に3回の熱心な研究会が持たれております。下半期も新たな構想の下に積極的な活動が期待されています。
- (4) 12月4日の年次総会でクラブ細則の一部改正を行いました。既に実績のある「地域社会調査委員会」を正式に社会奉仕委員会の特定分野の委員会として規定した他、当クラブの実態に則した幾つかの委員会の改廃を行いました。(1999年7月1日より発行)

職業奉仕委員会 委員長 宮本正祥

「職業奉仕はロータリーの綱領そのものであり、新方針を採択し、綱領を書き改めたりすることは、バイブルを改定しようとするのと同じ位無理なことなのです。職業奉仕とは団体的に行動するものではありません。職業奉仕はクラブの責務でもあると言われても、クラブは職業を持っていませんから職業奉仕はできないのです」(職業奉仕の新方針—1989年—toに思う。第2510地区職業奉仕委員長、塚原房樹) 私もこの意見に同感です。

職業奉仕とは、職業相談、職業指導など、表面的、技術的な対外活動に終始するのではなく、各員各々が職業奉仕の精神の理解を深め、行動に移す意欲を鼓吹し、そして実践する事にあります。クラブの職業奉仕委員会の任務は、各員の方々がこの方向へ進めるよう、その概念の啓蒙運動と実践のためのプロジェクトを創意工夫する事にあります。

そのような目的を念頭に置き、前半期は10月の職業奉仕月間に「見直そう、ロータリーの職業奉仕」をテーマにクラブ協議会を行いました。その際配布しました、シェルドンの「奉仕の哲学」は職業奉仕の理念・バイブルです。ぜひ繰り

返し、読んでいただきたい。

又、職業奉仕実践の場として、明石海峡大橋と、富士ゼロックス海老名工場の見学を行いました。

更に、職業奉仕に関連する卓話を2度(津田進氏、児玉桂子氏)行いました。その卓話で津田さんが語った「長瀬富郎のロータリー観」の中には将来の職業奉仕のありかたに関するヒントが述べられていたようです。「職業奉仕はI Serve ですが、将来、We Serve の局面も有り得るでしょう。しかし、職業奉仕はあく迄もI Serve が主体であります」

社会奉仕委員会 委員長 後藤信夫

1. 9月13日「第十回日米少年少女水泳大会」に国際奉仕委員会と共に協力金負担をしました。毎年元気の良い子供たちが参加しています。
2. 使用済切手、テレカ、書き損じハガキの回収ボックスを設置。会員の皆様にぜひ協力をお願いします。
3. 創立10周年ボランティア団体助成金交付の団体を決定。
①ガーディアン・エンジェルス・ジャパン ②麻布13クラブミニキャブ移送サービス ③青山を研究する会 ④青山防災会議 ⑤六本木をきれいにする会 ⑥子供の食事を考える会 以上六団体に助成金を交付しました。
4. 港区教育長と意見交換「教育はボランティアとなり得るか」ということで、地域社会調査委員会の調査結果を踏まえ実行に移す予定です。
5. 風の子の主催「外へ出よう」が5月16日に決定。悪天候により順延されてきましたが、皆様の参加を強くお願いしたいと思います。

地域社会調査委員会 委員長 清原元輔

当委員会の活動基本方針として、今年度は地域社会における奉仕の機会を調査し、主に社会奉仕委員会の奉仕活動の為の情報支援活動を基本として活動しました。

調査においては、継続性を第一義にしました。調査地域としては、我々のクラブ地域である港区について調査活動を進めました。

具体的な活動内容は、前年度より始まった『ボランティアと教育』をテーマとした調査活動を今年度も継続致しました。港区内の公立小・中学校と港区教育委員会に接触し情報収集をしました。

区立中学校の元校長先生に『教育という切り口からロータリアンがお手伝いできる事は何かあるか』とのテーマで意見交換をいたしました。

港区教育委員会の中村教育長にもお会いして『教育はボランティアの対象となり得る』とのお話を伺いました。

以上の調査活動の結果、具体的な要望もありましたので理事会に中間報告書を提出致しました。

環境保全委員会 委員長 柴田尚毅

1. 継続施策として、前年度佐々木委員長より引継いだ、小学生に寄贈した環境問題の図書の読後感アンケートを回収し分析した。(10年7月) 筈小学校5年、6年の113名の貴重な感想と今後への決意を見ることが出来た。
2. 環境保全、職業奉仕、親睦活動の3委員会合同で富士ゼロックス(株)海老名事業所の見学会を10月30日、23名参加のもと実施。

下期については以下の通り計画しています。

1. 「読売写真ニュース」を小学校に掲示する。
2. 卓話…「環境・持続社会」研究センターの活動。
3. 小学校へ環境図書の寄贈を計画。

国際奉仕委員会 委員長 小杉修造

★ ロータリー財団委員会／高橋良士財団委員長が積極的に

とり組んでくれて、PHFは、3名(高橋良士、柴田陽三、石坂二郎)の確約を受け、目下手続き中。ベネファクターは宮武会長にお願いし、手続き完了。PHFの3名は、すえ置きクレジットから、組み合せクレジットとして200ドルの提供が、理事会で承認された。またニコニコ・ボックスより1,000ドルを財団へ寄付した。

昨年11月のR財団月間では、地区委員長の竹尾正己氏をゲストスピーカーに迎え、活動状況と寄付の重要性を伺った。1月22日、R財団国際親善奨学生として6名の派遣のための面接をおこなった。

★米山記念奨学会、米山奨学生として、李承福君を受け入れ、カウンセラーに圓谷正和さんが、献身的な世話をしている。特別寄付、米山ファンドフェロー柴田陽三、準米山功労者に開発英基、米山功労者に小杉修造、以上3名の手続き完了。JGFR東京大会のチャリティ募金、30万円を米山記念奨学会へ寄付。

第Ⅱ米山記念会館建設資金として、会員有志による寄付金18,000円を渡した。

★世界社会奉仕委員会 栄養、識字率向上のためフィリピンのノーザンレイRCと組んだ同額補助金プロジェクト。これは前年度(関根春国際奉仕委員長)に立ち上げたものだが、98年8月21日申請が認められた。当クラブ1,000ドルを負担、食料関係で5,000ドル、識字関係で5,000ドル、合計10,000ドルのプロジェクト。

バギオ基金へ50,000円を拠出。

国際奉仕活動は、各委員会との連絡を密にしながら、上期の活動をそのまま継続し、尚一層の努力を続けたい。

クラブ奉仕委員会

出席委員会

委員長 佐藤定宏

上半期の各月平均出席率は、90%に届きませんでした。当今の厳しい経済環境の然らしめる処であらうと考えられますが、下半期には出席率向上において何らかの有効な手だてを行はなければいけないと考えます。

そこで、出席率が60%以下の会員に対してメークアップの推奨を、手紙で2ヵ月毎位の割合で催告して見ようかと考えます。又、出席0%の会員が何人かおおいでになります。この方々は何らかの事情がある方とか、職業上止むを得ないと思われる方々であります。この方々についても同様な働き掛けを委員会として行う心算ですが、出席率の向上には継がることは考へにくいと思はれます。と云って出席免除届けを出していただくようお願いすることも如何なものかと存じられる処です。

職業分類委員会

委員長 入沢頼二

後藤信夫会員の協力により、帝国データバンクによる港区内に所在する、ある一定条件以上(利益、規模等)を満たした会社リスト(会社名、所在地、代表者氏名、資本金、従業員、職業分類等)2984件を抽出していただいた。下半期は入手した会社リストより下記の活用を図りたい。

1) 会員増強委員会にリストを提供し、会員増強に役立たせていただきたい。

2) 入手した会社リストを職業分類別に分類・集計し、職業分類表(充填、未充填職業分類表)の見直しを行ないたい。

クラブ会報委員会

委員長 村山公士

552号(7月3日)から576号(12月25日)までの25号の週報を発行した。ここまではすべてA4裏表刷りである。

本年、制作方法を一新し、記事入稿、レイアウト編集、版下作成までのすべての工程をパソコン上で委員自らが、印刷(軽印刷)のみを業者に発注している。記事内容は昨年と

ほぼ同様である。

版下作成までのすべての工程を内製できた点は画期的であった。写真はデジタルカメラからの取り込みによる方法がうまくいかず従来の方法によっている点が目論見と異なっている。また、入稿を、できるだけデジタルで行おうとしているが、パソコンや電子メールのクラブ会員への浸透が未だ充分ではなく、全体としてはまだ十分な効果を発揮していない。

写真のデジタルによる取り込み、全体的な効率化が今後の課題である。

親睦活動委員会

委員長 小原 健

1. 例会関係 テーブルごとの来客紹介をやめてみた。また、誕生日祝いには、蝶ネクタイをお贈りした。新会員には、自宅に生花をプレゼントするようにした。

2. 火曜会 昨年度までと違い、一次会では食事、二次会は軽食とお酒を提供。テーマには、バラエティーをもたせるようにしたが、出席率が低下しているのが気がかり。

3. 親睦旅行会(職業奉仕と共催) 10月3日(土)、4日(日)と鳴戸・明石海峡大橋と神戸六甲山に旅行。徳島の夜も楽しく過ごせ、明石海峡大橋についても勉強させていただき、有意義だった。親睦をはかるうえで、旅行会は大切。

4. 忘年家族会 12月11日開催。会員の皆様から寄贈していただいた品物を景品にしてビンゴゲーム。久々の企画だったが、まずまず好評。音楽会も、ほのぼのとした、よい味が出せた。

5. 工場見学会(職業奉仕、環境保全委員会と共催) 10月30日。富士ゼロックス海老名事業所見学。横浜中華街「順海閣」。会員25名参加。

6. 友もあ会 入会3年未満の会員により「友もあ会」を発足させた。会合7月29日、9月30日、11月24日。新会員に当会になじんでもらう、よい場を提供できたと思う。

7. 新会員歓迎会、食べ歩き会 8月25日、1月26日。

8. ゴルフ会 親睦ゴルフ会を11月9日に開催。

9. 反省 やや忙しすぎたかもしれない。火曜会は、出席率向上が課題。

雑誌委員会

委員長 谷村義雄

毎月、会員の手許に届けられる「ロータリーの友」を下読みして「この記事だけは是非読んでいただきたい」と思う内容を毎月の最初の例会でお報せするのが、雑誌委員会の仕事ですが、簡単なようですが、多くの記事の中から責任を以て選び出すのに一苦労しました。

最初に、宮武会長から「第一にRI会長のメッセージ、第二に2750地区に関する記事」を紹介するようにとアドバイスを受けましたので、それだけは守ってお伝えしていますが、その他の楽しい記事となりますとなかなか見つかりません。2月号の「日米水泳大会」のように当クラブが協賛した記事が写真入力で掲載されると助かります。

まことに頼りない委員長ですが、後半期は頑張って少しはお役に立つ雑誌紹介をしたいと思います。ご鞭撻をおねがいします。

会員選考委員会

委員長 武下朗

以下5名の候補者の推薦があった。

98年 後藤完夫 吉田 武 土屋東一 鈴木康一

99年 石井謙次

選考委員会では上記5名の方々は、会員としてふさわしい人である旨理事会に報告した。

後藤さん、吉田さんは98年9月4日入会、土屋さんは9月18日に入会、石井さんは99年3月迄に、鈴木さんは5月迄に入会の予定です。

候補者の事業所に出向いて活動の一端にふれながら面談させて頂いた。選考の折に、ロータリー情報を短い時間に説明することは大変困難なことです、まず例会出席の必要性を主に説明させていただいた。

下期も引き続き理事会の受付承認後、速やかな行動をしたいと思う。

会員増強委員会 委員長 荒木昭文

宮武会長は本年度のクラブ活動方針の中で、特に3名以上の会員純増を目指しての会員増強と退会防止活動を最重要課題に掲げました。当委員会におきましても本年度増強目標7名(純増3名)として、上半期の活動を展開してまいりましたが、上半期の増強実績は入会者3名、退会者4名となり残念ながら純増マイナス1名という不本意な結果となりました。昨今の経済状況を考えれば、会員の減少傾向をよほどの力・増強で跳ね返す必要があります。今日ほど会員増強が極めて重要な課題であることをクラブ全体で認識し、全会員の増強活動へのご協力をお願いします。

下半期、会員増強委員会に於ても職業分類委員会より提供を受けました当クラブ区域内の企業情報資料を有効に活用し、会員増強活動をより効果的に進めていく予定です。

プログラム委員会 委員長 青野信次

ロータリーの基本は例会です。その時間の半分を担当するプログラム委員会は、会員相互とロータリーの4大奉仕の理解を深め、魅力的で品位ある時宜をえたプログラムを目標として昨年5月頃より準備を進めて来ました。

まずプログラム委員より数名づつ卓話候補者を推薦して頂き、ロータリー月間及びクラブ内行事と調整しながら毎週のプログラムを準備してきました。

現在迄のところ順調に推移していますが、これもプログラム委員のご協力のお蔭と感謝しているところです。

上半期の例会数は25回でその内訳は以下の通りです。

- ①当クラブ会員卓話6回(会員2回、イニシエーションスピーチ2回、クラブセミナー2回) ②外部卓話者13回
- ③夜間例会2回(含む忘年家族会) ④ブッフェ3回 ⑤工場見学会1回

前年度に比べクラブセミナー、イニシエーションスピーチの数が減った為、外部卓話者が多くなり費用が増えているが、その反面バラエティに富んだプログラムが組めていると思います。

下半期は22回の例会が予定されているが、魅力的で品位あるプログラムを目指したいと思います。

広報委員会 委員長 相澤成憲

当クラブの対外活動をアピールできるものがあればと考え、社会奉仕・国際奉仕委員会が企画した、麻布警察署・アメリカンクラブ主催の「日米少年少女水泳大会」の模様を「ロータリーの友」に送稿したところ、今年の2月号に紹介された。

また社会奉仕委員会の、風の子会の「外へ出よう」運動への参加の模様も紹介したいと考えたが、2回とも天候不良で中止となり、実現しなかった。

またロータリーの友からの要請のあったクラブ所属会員企業が取り組んでいる「環境保全の実際」についてのアンケート協力をお願いしたところ、小杉(眞)、開発両会員から回答

がよせられました。

今後も当クラブの活動をアピールできるものがあれば、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

ロータリー情報委員会 委員長 山川政樹

当委員会の上半期における活動状況は下記の通りです。

A. 会員候補者への情報提供

本年度に理事会で入会承認された各会員候補者にロータリーについて解説をした。

B. 新会員への情報提供

(1)新会員とロータリー情報委員会委員とのマンツーマン方式のカウンセラー体制を確立

(2)11月5日第1回のファイアサイドミーティング形式の勉強会を行った。新会員の方々は、ロータリー情報に興味を示してくれた。

C. 一般会員への情報提供

(1)ロータリークラブ定款の改正点について解説

(2)2回のクラブセミナーでは3年未満の会員から出された質問のうち、4大奉仕についての質問(奉仕の理想って何? ; ロータリーとライオンズの違い ; ロータリーソング ; イニシエーションスピーチ ; クラブと職業奉仕等)に答えた。

SAA 委員長 島田昌雄

期初の活動方針は、「秩序正しく、品位がある裡にも楽しい例会運営に注力する」である。

①8月27日ガバナー公式訪問に当り、東京南RCとの合同例会が開催され、初めての試みであったが、関係者一同の密接な協力により無事終了。

②食事にバラエティーを! ということで、従来よりの月初和食に若干の変化をもたせ、更に2ヶ月に1回中華料理のメニューを加えた。好評の様子なのでこのペースで継続したい。ただし、注文人数の予測がむずしく、苦勞している。

③喫煙問題は従来通りとしたが、喫煙者の良識ある抑制により特に問題はないのではないかと。会員のご意見あれば伺いたい。

④点鐘前ギリギリの出席が多く、着席に混乱を生じている。早めの出席を望みたい。

ソングリーダー委員会 委員長 柴本芳郎

上期は3つの目標を掲げて活動をしている。

(1)クラブソングである「It's a small world」の2部合唱が新会員を含めて正確に歌えないので今一度特に低音部の指導練習を徹底することを目標とした。そして南クラブ会長が当クラブでこの合唱を聞かれ、ガバナー訪問の合同例会では是非披露してほしいとの要望あり当日両クラブ全員で合唱した。

(2)ロータリーソングに「4つのテスト」の歌があるが、当クラブでは今迄殆んど歌っていなかったもので、全員歌えるようにと練習を兼ねて月1回程度例会で歌うことにした。

(3)「今月の歌」としてなつかしい日本唱歌を選んでいく。これを月2回程度ロータリーソングに加え例会で歌うようにした。

以上ソング各委員のご協力によって目標に沿った成果が着々とあがっていると思う。

東京新南ロータリークラブ

会長: 宮武保義 副会長: 小澁雅亮 幹事: 大日方真
〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004

例会日: 毎週金曜日 12時30分

例会場: 東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111

<会報委員>

田中 武、小杉 眞史、小原 渉、
開発 英基、柴田 尚毅、大山 啓人、
T. CONSIGNY、水原信太郎、谷 義一、
金光 圭一、大村 富俊、村山 公士

(編集担当順)